



Chord Tracker マニュアル

Chord Trackerは、デバイス内のオーディオデータから楽曲のコード情報を解析し、楽器演奏や練習をサポートするスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイス用アプリケーションです。

対応楽器と接続すれば、抽出したコード情報を楽器へ送信したり、楽器演奏をアプリケーションに録音したりできます。

NOTE

- ・対応楽器に関する情報はヤマハウェブサイトでご確認ください。
- ・一部の楽器では、コード情報の送信はできません。
- ・録音機能は、無線LAN接続に対応しているか、USBオーディオインターフェース機能を搭載している楽器のみ使用できます。
- ・スマートデバイスと楽器の接続方法については、ヤマハウェブサイト上のスマートデバイス接続マニュアルをご覧ください。
- ・DropboxおよびFiles by Googleは、オーディオデータのインポートに使用できるサービス/アプリです。これらに保管したオーディオデータを、Chord Trackerにインポートできます。

お知らせ

- ・市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このマニュアルに掲載されている画面(iOS版)は、すべて説明のためのものです。
- ・iTunes、iPhone、iPad、iPod touch、Lightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・日本国内において、iPhoneは、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されている商標です。
- ・Android、Google Play、Files by GoogleはGoogle LLCの商標です。
- ・Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- ・MIDIは、一般社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・Dropboxは、Dropbox Inc.の商標または登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

ホーム画面



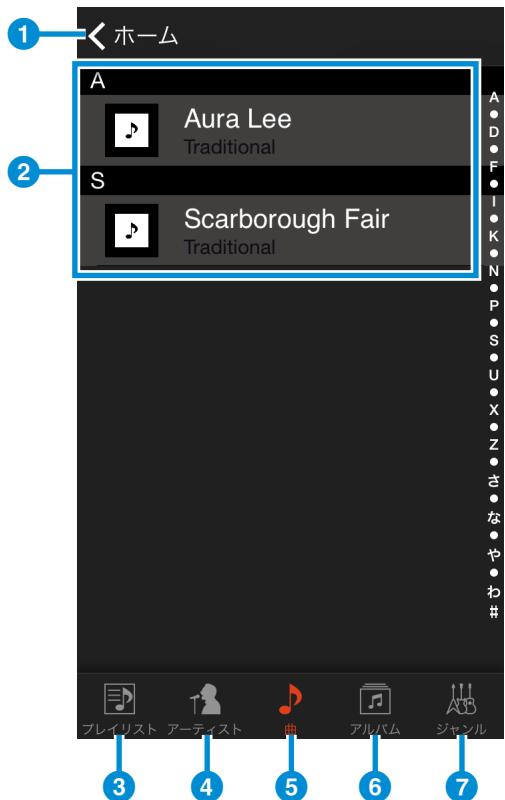
- ① ミュージックライブラリー画面に切り替えります。
([3ページ](#)をご参照ください。)
- ② デモソングの一覧が表示されます。
曲名をタップするとプレーヤー画面に切り替わります。
([4ページ](#)をご参照ください。)
- ③ お気に入りに登録した楽曲の一覧が表示されます。
- ④ ユーザーソング画面に切り替えります。
新規に録音を開始する場合や録音した曲を聞く場合はこの画面から行います。また、iOS版ではDropbox、Android版ではFiles by Googleから、楽曲をインポートできます。
([9ページ](#)をご参照ください。)
- ⑤ 接続中の楽器です。
タップすると接続可能な機器一覧が表示されます。一覧から機器をタップして接続機器を切り替えられます。

NOTE

Android版でBluetooth MIDI機器を検出するには、このアプリによる位置情報へのアクセスを許可する必要があります。
GPSを用いてお客様の位置情報を取得することはありません。

- ⑥ 設定画面に切り替えります。
([10ページ](#)をご参照ください。)

ミュージックライブラリー画面

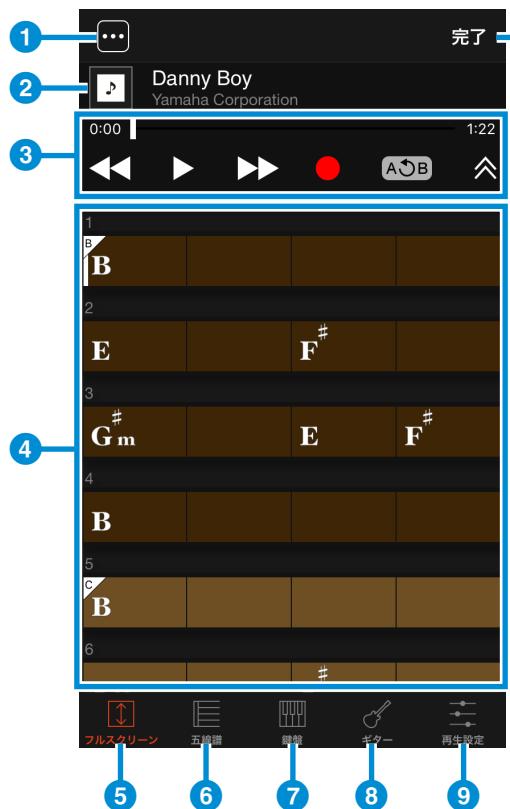


- ① ホーム画面に切り替わります。
- ② 曲名をタップするとプレーヤー画面に切り替わります。
([4ページ](#)をご参照ください。)
- ③ 作成したプレイリストが表示されます。
- ④ スマートデバイス内の楽曲がアーティストごとに表示されます。
- ⑤ スマートデバイス内の楽曲一覧が表示されます。
- ⑥ スマートデバイス内の楽曲がアルバムごとに表示されます。
- ⑦ スマートデバイス内の楽曲がジャンルごとに表示されます。

プレーヤー画面

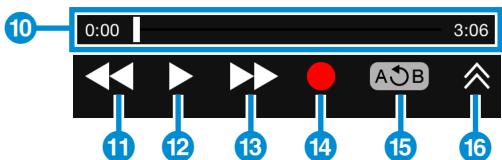
ミュージックライブラリー画面で曲を選択すると、この画面に切り替わりコードが自動解析されます。

曲の再生、コードの表示や編集をすることができます。



- ① アクティビティリスト画面を表示します。
([5ページ](#)をご参照ください。)
- ② 楽曲の情報(曲名、アーティスト名、アルバム名、アートワーク)です。
- ③ トランスポートエリアです。
([5ページ](#)をご参照ください。)
- ④ コード表示エリアです。
ひとつひとつの区切り(ブロック)は拍を表しています。タップすると、その位置に再生位置のカーソルが移動します。
カーソルがあるブロックをタップするとコードエディット画面を開きます。
([6ページ](#)をご参照ください。)
ブロックを長押しするとコピー、ペースト、削除の操作ができます。操作をすると↶が表示され、これをタップすると最後の1回分の操作について取り消しができます。
- ⑤ コード表示エリアを最大にします。
- ⑥ カーソル位置のコードを五線譜表示します。
- ⑦ カーソル位置のコードを鍵盤表示します。
- ⑧ カーソル位置のコードをギターのコード譜表示します。[Capo]をタップしてカポタストの位置を設定できます。
- ⑨ 再生設定画面を表示します。
([8ページ](#)をご参照ください。)
- ⑩ プレーヤー画面を閉じます。

トランスポートエリア詳細



⑩ 曲の再生時間と再生位置です。

カーソルを動かして曲の早戻し/早送りできます。

⑪ 早戻しボタンです。

タップすると1小節早戻します。

⑫ 再生ボタン/一時停止ボタンです。

タップすると再生を開始します。再生中にタップすると一時停止します。

⑬ 早送りボタンです。

タップすると1小節早送りします。

⑭ 録音ボタンです。

タップすると録音待機状態となり、再生ボタンをタップすると録音を開始します。

一時停止ボタンをタップすると録音を終了します。

録音待機状態で再度、録音ボタンをタップすると待機状態を解除します。

NOTE

- 対応楽器と無線LANまたはUSBケーブルで接続したときのみ録音できます。ただし、USBケーブルでの接続は、USBオーディオインターフェース機能を搭載した楽器に限ります。
- 一部の楽器ではプレーヤー画面での録音ができません。

⑮ ABリピートボタンです。

タップすると、そのときのカーソル位置がA点、再度タップしたときのカーソル位置がB点となり、AB区間がリピート再生されます。もう一度タップするとリピート再生が解除されます。

⑯ 楽曲情報の表示/非表示を切り替えます。

アクティビティリスト画面



⑰ 録音した曲をメールで送信します。(録音した曲以外の場合は表示されません。)

NOTE

市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。

⑱ 接続中の楽器にコード進行をソングファイルとして送信します。ソングファイルに、楽曲にお薦めのスタイルを含めることもできます。

NOTE

- スマートデバイスおよび楽器の言語設定を日本語にしてください。
- 楽器によっては、この機能を使えない場合があります。

⑲ 選択中の楽曲をお気に入りに登録します。

⑳ コード解析設定画面を表示します。(7ページをご参照ください。)

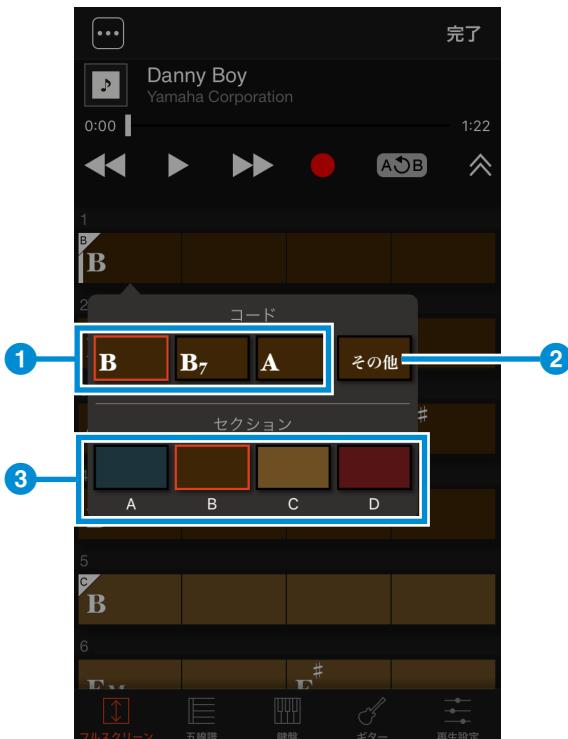
コードエディット画面

コード情報は高い精度で解析されていますが、原曲と異なる場合があります。カーソルがあるブロックをタップすると、コードエディット画面が開きブロックのコードとセクションを編集できます。

NOTE

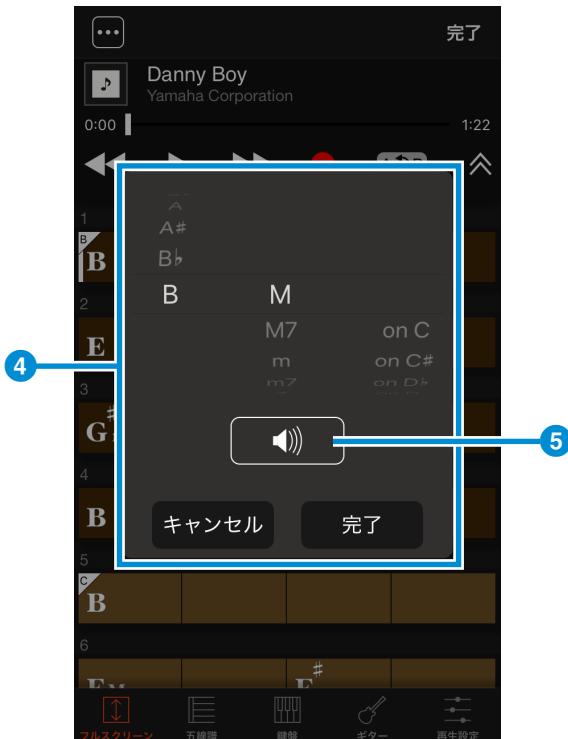
「イントロ」「サビ」「エンディング」など、曲を構成するひとまとまりの部分をセクションといいます。

画面 1



- ① 解析されたコードの候補です。
タップするとコードの変更と一緒に、構成音が再生されます。
- ② 任意のコードを選択する画面が開きます。
([画面2](#)をご参照ください。)
- ③ セクションを指定します。
タップするとそれ以降のブロックが指定のセクションに変更されます。
選択中のセクションを再度指定すると、セクションが無効になります。
設定で「セクション自動検出」を「オン」にしておくと、セクションを自動検出します。

画面 2

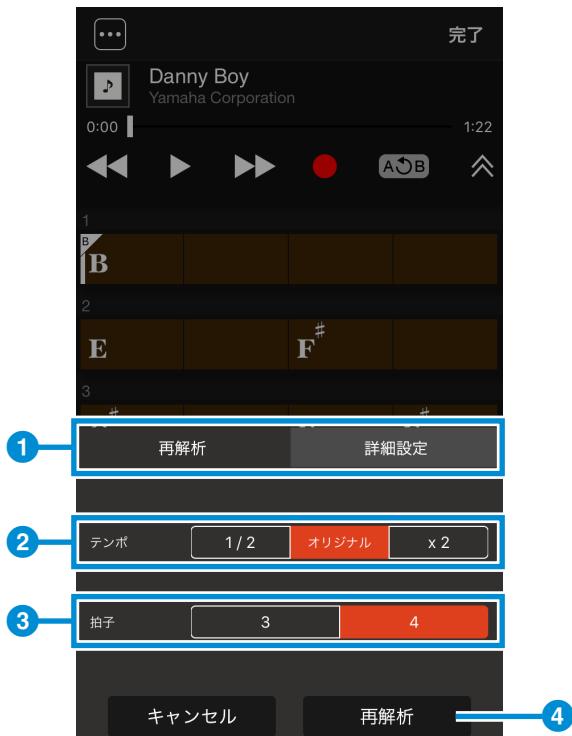


- ④ 任意のコードを選択する画面です。
左からルート、タイプ、オンベースを指定します。
- ⑤ タップすると構成音が再生されます。

コード解析設定画面

コード解析時には、楽曲のコードだけでなくテンポなども解析します。テンポなどが原曲と異なる場合はコード解析設定を変更してください。

再解析



- ① コード再解析時の設定/詳細設定を切り替えます。
- ② コード再解析時のテンポを設定します。
はじめて解析したときのテンポをオリジナルとし、その半分または倍のテンポに変更できます。
- ③ コード再解析時の拍子を設定します。
- ④ コードの再解析を実行します。

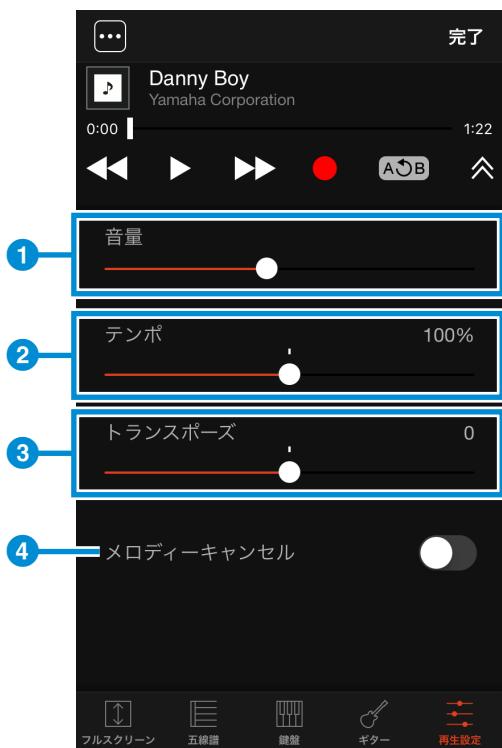
詳細設定



- ⑤ 小節の開始位置を調整します。
+/-ボタンをタップすることで、拍単位で前後に調整できます。
- ⑥ 曲のキー(調)を変更します。

再生設定画面

楽曲の再生に関するパラメーターを設定できます。



① 音量を変更します。

楽器が無線接続されている場合は、楽器に送信するオーディオ音量を変更します。それ以外の場合は、デバイスの音量を変更します。

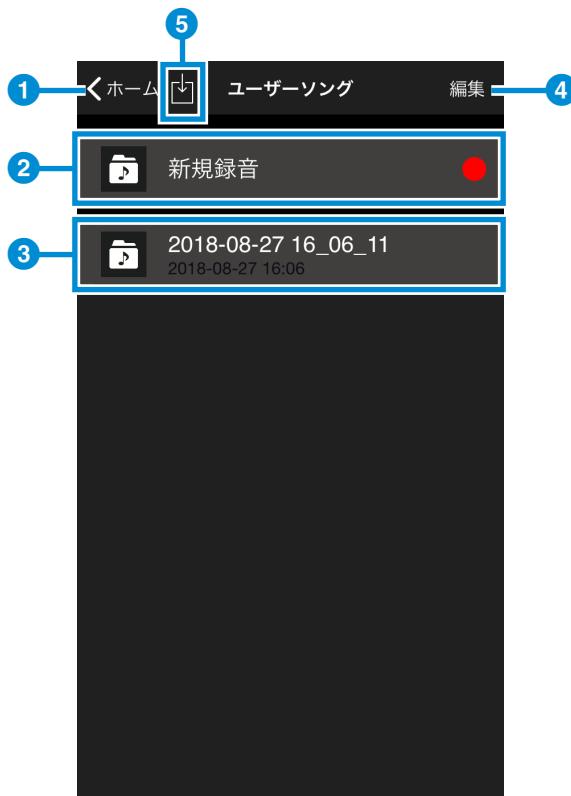
② テンポを調節します。

③ トランスポーズをし、キー(調)を変更します。
キー(調)の変更に合わせてコードも自動的に変換されます。

④ メロディーキャンセルのON/OFFを切り替えます。

ステレオ再生のセンターに位置する音をキャンセル(小さくする)できます。
多くの場合ボーカル音などのメロディーパートがセンターにあるので、メロディーパートを鍵盤で演奏したいときなどに便利な機能です。

ユーザーソング画面



① ホーム画面に切り替わります。

② [⑤]ボタンをタップすると録音が始まります。

NOTE

対応楽器と無線LANまたはUSBケーブルで接続したときのみ録音できます。ただし、USBケーブルでの接続は、USBオーディオインターフェース機能を搭載した楽器に限ります。

③ ユーザーソングの一覧です。

タップするとプレーヤー画面に切り替わります。

NOTE

録音した曲や、Dropbox、Files by Googleからインポートした楽曲がない場合は、何も表示されません。

④ 編集画面に切り替わります。

ユーザーソングを削除したり、曲名を変更したりできます。

⑤ DropboxやFiles by Googleに保存した楽曲をインポートします。

iOS版：Dropboxが起動し、ログイン後、「アプリ>Chord Tracker」フォルダーに保存した楽曲を選択してインポートします。

Android版：Files by Googleが起動し、保存した楽曲を選択してインポートします。

NOTE

Files by Googleが、お使いのスマートデバイスにインストールされていない場合は、Google Playストアからダウンロードしてください。

設定画面



- ① Bluetooth MIDI接続する楽器を選択します。

NOTE

Android版では表示されません。

- ② コードの解析結果の簡略化の設定をします。

- ③ セクション自動検出をする/しないを設定します。

- ④ 録音フォーマットを選択します。

AAC: 圧縮されたオーディオフォーマットです。WAVに比べ、データサイズが小さいのが特長です。

WAV: 圧縮されていないオーディオフォーマットです。AACに比べ、音質が良いのが特長です。

- ⑤ Dropboxへのログイン、ログアウトを行います。

NOTE

Android版では表示されません。

- ⑥ マニュアルを表示します。

- ⑦ ソフトウェア使用許諾契約を表示します。

- ⑧ プライバシーに関する設定を行います。

- ⑨ ライセンス情報を表示します。

